

令和4年度 第1回
西脇市障害者地域支援協議会資料

令和4年8月29日～9月5日

書面会議

1 第6期計画の数値目標及び令和3年度実績について

(1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行

項目		数値	考え方
令和元（2019）年度末の施設入所者数（A）		60人	【基準値】
第6期目標値	令和5（2023）年度末の施設入所者数（B）	59人	
	施設入所者の削減者数（A） - （B）	1人 (▲1.7%)	<基本指針> 【基準値】から1.6%以上削減
	令和5（2023）年度末の地域生活移行者数（施設や病院等からの移行者）	4人 (▲6.6%)	<基本指針> 【基準値】から6%以上移行
令和3年度末時点の入所者数		61人	-1.7%
令和3年度の地域生活移行者数		1人	-1.7%

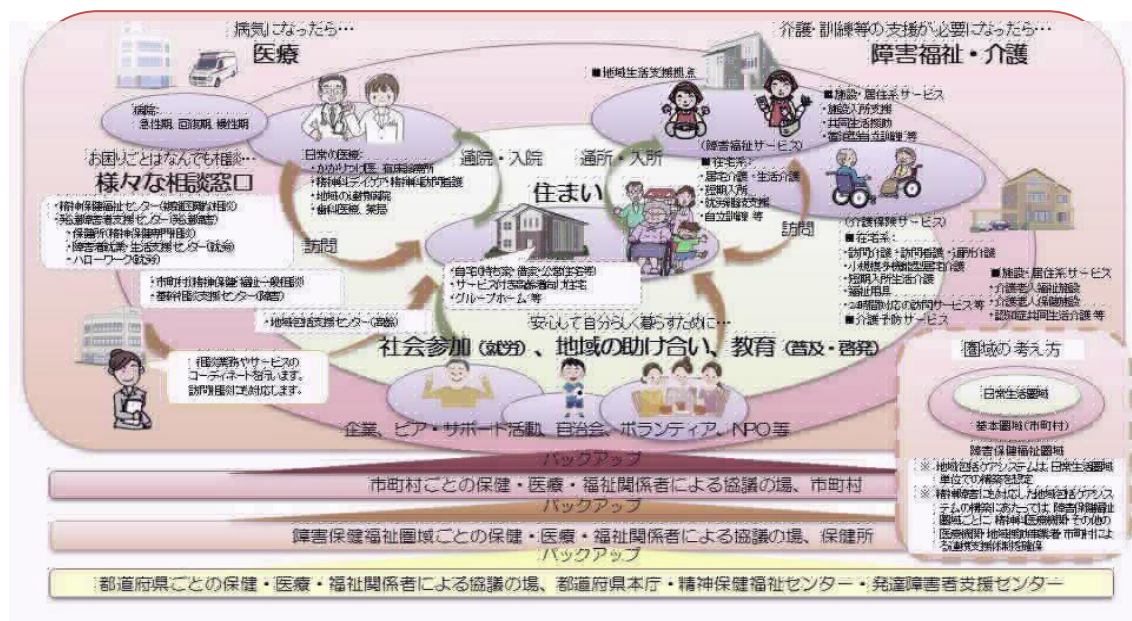
令和3年度において地域生活移行となった方は、病院から高齢者住宅という形で地域生活移行となった方が1人のみで目標を達成することが出来ませんでした。(2)に記載する連絡会議等で引き続き個々のケースについて検討していきます。

(2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

第6期	項目
目標	保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置します。
令和3年度実績	未設置 <取組> ・北播磨圏域内での課題抽出や協議の場の設置についての検討実施

令和3年度においては、昨年同様精神障害者地域移行・地域定着支援にかかる精神科病院と行政による連絡会議（事務局：加東健康福祉事務所地域保健課）及び圏域連絡会において、地域課題や各市町の協議の場についての意見交換を実施しました。各市町における個々のケースについて、加東健康福祉事務所の助言を得ながら進めております。

●精神障害にも対応した地域包括ケアシステムのイメージ (資料：厚生労働省)



第6期	項目	目標値	令和3年実績
目標	地域生活支援拠点等（面的整備型）の整備を目指します。 ※面的整備型：地域における複数の機関が分担して機能を担う体制		
令和3年度実績	未整備 ＜取組＞・障害者基幹相談支援センター開設 ・グループホーム新規開設推進補助金制度による開設支援		
活動指標	地域生活支援拠点等の設置か所数	1か所以上	未設置
	保健、医療、福祉関係者による協議の場の開催回数	年1回以上	年1回
	保健、医療、福祉、介護、当事者、家族等の関係者ごとの参加者数	各1人以上	各1人以上
	保健、医療、福祉関係者による協議の場における目標設定及び評価の実施回数	年1回以上	年1回

(3) 地域生活支援拠点等が有する機能の充実～障害のある人の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた居住支援の体制確保

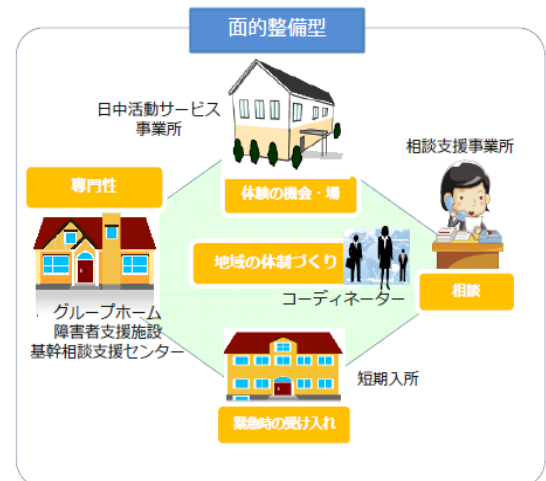
令和3年度においては、令和3年4月から障害者基幹相談支援センター業務を開始、5月から健康福祉連携施設内で設置しました。前回の会議資料「令和3年度西脇市障害者基幹相談支援センター事業報告」のとおり、相談機能の強化や地域の体制づくり等に取り組んでいただいております。また、グループホームについては、市内のグループホーム1事業所が既に満床になっており、新規開設推進のため補助金制度等周知を行いました。その結果、令和4年度に新規開設予定となっております。

★基本指針における地域生活支援拠点等の整備

に当たって求められる機能

- ・ 相談（地域移行・親元からの自立等）
- ・ 体験の機会・場（一人暮らし・グループホーム等）
- ・ 緊急時の受入れ・対応（ショートステイの利便性・対応力向上等）
- ・ 専門性（人材確保・養成・連携等）
- ・ 地域の体制づくり（サービス拠点・コーディネーターの配置等）

資料：厚生労働省



(4) 福祉施設から一般就労への移行等

※一般就労移行者数：福祉施設を利用している障害のある人が、就労移行支援事業等（生活介護、自立訓練、就労移行支援及び就労継続支援事業）を利用し、一般就労に移行する人数

■ 一般就労移行者数

第6期	数値	考え方
基準値	9人	福祉施設を退所し、一般就労した者の数(令和元(2019)年度実績)
目標値	9人	<基本指針>【基準値】の1.27倍以上
令和3年度実績	6人	

基準値を9人としておりますが、例年6名程度であるため6人の1.27倍となる9人が目標となっております。令和3年度においては、昨年同様新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一般就労への移行については難しく、目標を下回ることとなりました。

■ 一般就労移行者のうち就労移行支援事業利用者数

第6期	数値	考え方
基準値	2人	就労移行支援事業利用者数(令和元(2019)年度実績)
目標値	3人 (1.5倍)	<基本指針>【基準値】の1.3倍以上
令和3年度実績	1人	

市内に事業所がなく利用者が少ないことから、令和3年度については、基準値、目標値ともに上回る事が届きませんでした。

■ 一般就労移行者のうち就労継続支援A型事業利用者数<新規>

第6期	数値	考え方
基準値	0人	就労継続支援A型事業利用者数(令和元(2019)年度実績)
目標値	1人	<基本指針>【基準値】の1.26倍以上
令和3年度実績	1人	

令和3年度については、1人の利用実績により目標を上回ることが出来ました。

■ 一般就労移行者のうち就労継続支援B型事業利用者数<新規>

第6期	数値	考え方
基準値	7人	就労継続支援B型事業利用者数(令和元(2019)年度実績)
目標値	5人	<基本指針>【基準値】の1.23倍以上
令和3年度実績	4人	

令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、基準値・目標値ともに上回る事が出来ませんでした。

■ 一般就労移行者のうち就労定着支援事業者の利用者数<新規>

第6期	数値	考え方
基準値	9人	令和5(2023)年度末における就労移行支援事業等を通じて一般就労に移行する利用者数

第6期	数値	考え方
目標値	7人	<基本指針>【基準値】の7割以上
令和3年度実績	2人	2割

近隣に就労定着支援を行える事業所が少ないため、サービスの利用に結び付けることが難しい状況です。必要に応じて、ジョブコーチや北播磨就業・生活支援センターの支援に繋ぐことはできています。

■ 就労定着率^(※)が8割以上の就労定着支援事業所数<新規>

第6期	数値	考え方
基準値	1事業所	令和5（2023）年度末の就労定着支援事業所数
目標値	1事業所	<基本指針>【基準値】の7割以上
令和3年度実績	0事業所	-

※就労定着率…過去3年間の就労定着支援の総利用者数のうち前年度末時点の就労定着者数
市内に事業所がない状況が続いていますが、必要に応じてジョブコーチや北播磨就業・生活支援センターの支援に繋ぐ等、就労定着率の向上に取り組めます。

■ 市が雇用している障害のある人の状況

	市で雇用している障害者	雇用率		
		市	教育委員会	
令和元年6月1日現在	17人	2.75%	3.90%	※うち、精神障害 6人 身体障害 10人 知的障害 1人
令和2年6月1日現在	22人	3.17%	3.66%	※うち、精神障害 7人 身体障害 14人 知的障害 1人
令和3年6月1日現在	21人	2.89%	2.79%	※うち、精神障害 6人 身体障害 14人 知的障害 1人
令和4年6月1日現在	19人	2.57%	2.84%	※うち、精神障害 6人 身体障害 12人 知的障害 1人

令和4年3月31日付で2人の退職がありました。現在採用等がまだないため、今後、採用計画を労働基準監督署に提出する予定です。

■ 市から福祉施設等への優先発注状況

令和元年度（2019年度）	目標額 2,100千円	実績額 1,614千円
令和2年度（2020年度）	目標額 2,100千円	実績額 3,626千円
令和3年度（2021年度）	目標額 4,000千円	実績額 3,978千円
令和4年度（2022年度）	目標額 4,000千円	福祉施設等との契約による事業委託等

(5) 障害のある子どもへの支援の提供体制の整備等

■ 医療的ケアが必要な子どもの支援のための関係機関の協議の場の設置

第6期	項 目
目 標	令和5（2023）年度末までに、医療的ケアが必要な子どもが適切な支援を受けられるよう、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関が連携を図るための協議を設置 <市又は圏域内>
令和3年度実績	市・圏域共に設置済 ※令和元（2019）年4月から北播磨各市町で構成する北播磨障がい福祉ネットワーク会議において、医療的ケア児支援部会を設置。令和3年度からは西脇市障害者地域支援協議会医療ケア児・者支援連絡会を新たに設置して圏域や市において協議しています。

■ 児童発達支援センターの設置

第6期	項 目
目 標	令和5（2023）年度末までに、児童発達支援センター（1か所以上）を設置 <市又は圏域内>
令和3年度実績	設置済（圏域内） ※子ども家庭庁創設により、こども政策の新たな推進体制に関する庁内会議を令和4年度から協議予定

■ 保育所等訪問支援を利用できる体制の構築

第6期	項 目
目 標	令和5（2023）年度末までに、保育所等訪問支援を利用できる体制を構築
令和3年度実績	体制構築済（圏域内） 保育所等訪問支援事業を実施する事業所が1か所ありますが、利用者数は少ない状況です。

■ 主に重症心身障害のある子どもを支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の確保

第6期	項 目
目 標	令和5（2023）年度末までに、主に重症心身障害のある子どもを支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所（1か所以上）を確保 <市又は圏域内>
令和3年度実績	市内事業所1か所設置済 ※「兵庫県重症心身障害児向け通所支援・居宅訪問型児童発達支援事業所整備促進事業」を活用し、令和3年1月に市内初の重症心身障害児対応放課後等デイサービス事業所が開設されました。

■ 医療的ケアが必要な子どもに対し支援等を調整する医療的ケア児等コーディネーターの配置

第6期	項 目
目 標	令和5（2023）年度末までに、医療的ケアが必要な子どもに対する支援等を調整する医療的ケア児等コーディネーターを配置 <市又は圏域内>
令和3年度実績	未設置 ※北播磨障がい福祉ネットワーク会議の医療的ケア児支援部会及び西脇市障害者地域支援協議会医療ケア児・者支援連絡会において、医療的ケア児等コーディネーター設置に向けて協議しています。

(6) 相談支援体制の充実・強化等<新規>

ア 第6期計画の目標

- 総合的・専門的な相談支援の実施
- 地域の相談支援体制の強化を実施する体制の確保

第6期	項 目	目標値	令和3年度実績
目 標	令和3（2021）年度から、新たに障害者基幹相談支援センターを設置します。	設置	設置
活動指標	①総合的・専門的な相談支援の実施の有無	実施	実施
	②相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導・助言件数	100件	34件
	③相談支援事業者の人材育成の支援件数	5件	4件
	④相談機関等との連携強化の取組の実施回数	5回	2回

「令和3年度西脇市障害者基幹相談支援センター事業報告」より

令和3年4月に障害者基幹相談支援センターを設置し、周知を図ったことにより複合的な課題を抱えるケースを含む相談件数は増加しています。また、相談支援事業者からの相談にも今年度で既に目標値の3割、人材育成の支援については8割、連携強化の取組回数も4割達成でき、着実に相談支援体制の充実・強化に繋がっています。

(7) 障害福祉サービス等の質の向上<新規>

第6期	項 目	目標値	令和3年度実績
活動指標	①県が実施する障害福祉サービス等に係る研修への参加人数	55人	-
	②障害者自立支援審査支払システム等での審査結果の分析と活用	実施	未実施

2 障害福祉サービス等の見込量（活動指標）と確保のための方策

(1) 障害福祉サービス

ア 訪問系サービス

サービス	単位	項目	第5期			第6期		
			平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
・居宅介護 ・重度訪問介護 ・同行援護 ・行動援護 ・重度障害者等 包括支援	利用者数 (人/月)	目標値	44	47	50	43	43	43
		実績	40	40	42	42		
		達成率	90.9%	85.1%	84%	97.7%		
	利用時間数 (時間/月)	目標値	528	564	600	952	952	952
		実績	872	964	946	508		
		達成率	165.2%	170.9%	157.7%	53.4%		
1人当たり利用時間		21.8	24.1	22.5	12.1			

※令和2（2020）年度実績は見込値を掲載しています（以下5章において全て同じ。）。

※資料：社会福祉課（以下5章において全て同じ。）

重度訪問介護利用者が市外に転出されたことにより、利用時間が大幅に減少しています。

イ 日中活動系サービス

サービス	単位	項目	第5期			第6期		
			平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
生活介護	実利用者数 (人/月)	目標値	119	125	131	104	106	108
		実績	98	100	102	103		
		達成率	82.4%	80%	77.9%	99%		
	延べ利用者 数(人日/月)	目標値	2,261	2,375	2,489	2,050	2,100	2,150
		実績	1,891	1,957	2,010	1,970		
		達成率	83.6%	82.4%	80.8%	96.1%		
自立訓練 (機能訓練)	実利用者数 (人/月)	目標値	4	5	6	2	2	2
		実績	0	0	0	1		
		達成率	0%	0%	0%	50%		
	延べ利用者 数(人日/月)	目標値	80	100	120	40	40	40
		実績	0	0	0	22		
		達成率	0%	0%	0%	55%		

自立訓練 (生活訓練)	実利用者数 (人/月)	目標値	1	1	1	2	2	2
		実績	2	1	1	0		
		達成率	200%	100%	200%	0%		
	延べ利用者 数(人日/月)	目標値	16	16	16	30	30	30
		実績	37	9	9	0		
		達成率	231.3%	56.3%	56.3%	0%		

生活介護の利用者は横の微増傾向ですが、令和3年度の延べ利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響により利用自粛や事業所の休業等で減少しています。また、自立訓練や就労移行支援、就労定着支援の事業所は市内にないため、他市町の事業所の利用が必要な状況です。

サービス	単位	項目	第5期			第6期		
			平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
就労移行 支援	実利用者数 (人/月)	目標値	4	5	6	4	4	4
		実績	4	4	4	3		
		達成率	100%	80%	66.7%	75%		
	延べ利用者 数(人日/月)	目標値	68	85	102	68	68	68
		実績	59	68	68	54		
		達成率	86.8%	80%	66.7%	79.4%		
就労継続 支援A型	実利用者数 (人/月)	目標値	45	50	55	35	36	37
		実績	35	34	34	33		
		達成率	77.8%	68%	61.8%	94.6%		
	延べ利用者 数(人日/月)	目標値	900	1,000	1,100	710	730	750
		実績	698	675	690	644		
		達成率	77.6%	67.5%	62.7%	90.7%		
就労継続 支援B型	実利用者数 (人/月)	目標値	109	121	133	150	160	170
		実績	114	129	135	137		
		達成率	104.6%	106.6%	101.5%	91.3%		
	延べ利用者 数(人日/月)	目標値	1,962	2,178	2,394	2,350	2,450	2,550
		実績	1,928	2,146	2,250	2,172		
		達成率	98.3%	98.5%	94%	92.4%		
就労定着 支援	実利用者数 (人/月)	目標値	2	2	2	1	1	1
		実績	0	1	1	1		
		達成率	0%	50%	50%	100%		

サービス	単位	項目	第5期			第6期		
			平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
療養介護	実利用者数 (人/月)	目標値	7	8	9	7	7	7
		実績	5	5	6	7		
		達成率	71.4%	62.5%	66.7%	100%		
短期入所 (医療型)	実利用者数 (人/月)	目標値	8	8	8	8	8	8
		実績	7	9	8	1		
		達成率	87.5%	112.5%	100%	12.5%		
	延べ利用者 数(人日/月)	目標値	72	72	72	29	29	29
		実績	29	29	5	5		
		達成率	40.3%	40.3%	7%	17.2%		
短期入所 (福祉型)	実利用者数 (人/月)	目標値	15	16	17	15	16	17
		実績	15	14	15	16		
		達成率	100%	87.5%	88.2%	106.7%		
	延べ利用者 数(人日/月)	目標値	120	128	136	170	180	190
		実績	164	150	160	146		
		達成率	136.7%	117.2%	117.6%	85.9%		

短期入所（医療型）は新型コロナウイルス感染症の影響による利用自粛や利用休止時期もあり、利用人数が減少しました。

ウ 居住系サービス

サービス	単位	項目	第5期			第6期		
			平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
自立生活 援助	実利用者数 (人/月)	目標値	1	1	1	0	1	1
		実績	0	0	0	0		
		達成率	0%	0%	0%	0%		
共同生活援助 (グループホーム)	実利用者数 (人/月)	目標値	22	23	24	40	45	50
		実績	22	28	37	37		
		達成率	100%	121.7%	154.2%	92.5%		
施設入所 支援	実利用者数 (人/月)	目標値	68	68	67	61	60	59
		実績	63	59	61	59		
		達成率	92.6%	86.8%	91%	96.7%		

共同生活援助（グループホーム）の利用については、令和3年度は横ばいとなりましたが、令和4年度市内に新たに開設する事業所があり、利用意向も出ていることから、今後増加する見込みです。

(2) 相談支援

サービス	単位	項目	第5期			第6期		
			平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
計画相談 支援	実利用者数 (人/月)	目標値	52	58	64	100	110	120
		実績	66	81	90	78		
		達成率	126.9%	139.7%	140.6%	78%		
地域移行 支援	実利用者数 (人/月)	目標値	2	2	2	2	3	3
		実績	0	1	1	0		
		達成率	0%	50%	50%	0%		
地域定着 支援	実利用者数 (人/月)	目標値	2	2	2	1	1	1
		実績	0	0	0	0		
		達成率	0%	0%	0%	0%		
障害児相談 支援	実利用者数 (人/月)	目標値	11	13	15	30	35	38
		実績	16	20	26	26		
		達成率	145.5%	153.8%	173.3%	86.7%		

(3) 地域生活支援事業

ア 必須事業

サービス	単位	項目	第5期			第6期			
			平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	
理解促進研修・ 啓発事業	実施の有無	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
		実績	実施	実施	実施	実施			
自発的活動 支援事業	実施の有無	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
		実績	実施	未	未	未			
相談支援事業	障害者相談 支援事業	目標値	2	2	2	1	1	1	
		実績	2	2	2	1			
		達成率	100%	100%	100%	100%			
	基幹相談支 援センター	実施の有無	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施
		実績	未	未	未	実施			
	相談支援機 能強化事業	実施の有無	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施
		実績	実施	実施	実施	実施			
	住宅入居等 支援事業	実施の有無	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施
		実績	実施	実施	実施	実施			
	成年後見制度 利用支援事業	実利用 見込者数 (人)	目標値	1	1	1	0	0	1
実績			0	0	0	0			
達成率			0%	0%	0%	0%			
成年後見制度法 人後見支援事業	実施の有無	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
		実績	未	未	未	未			

サービス	単位	項目	第5期			第6期		
			平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
意思疎通支援事業	手話通訳者 設置事業 (人/年)	目標値	1	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1		
		達成率	100%	100%	100%	100%		
	手話通訳者・要約 筆記者派遣 事業 (件/年)	目標値	200	200	200	110	110	110
		実績	145	113	110	120		
		達成率	72.5%	56.5%	55%	109.1%		
日常生活用具給付等事業	介護・訓練 支援用具	目標値	4	4	4	4	4	4
		実績	0	3	3	0		
		達成率	0%	75%	75%	0%		
	自立生活 支援用具	目標値	10	10	10	8	8	8
		実績	5	9	7	3		
		達成率	50%	90%	70%	37.5%		
	在宅療養等 支援用具	目標値	10	10	10	6	6	6
		実績	9	5	5	5		
		達成率	90%	50%	50%	83.3%		
	情報・意思 疎通支援 用具	目標値	8	8	8	4	4	4
		実績	6	4	4	3		
		達成率	75%	50%	50%	75%		
	排せつ管理 支援用具※	目標値	547	604	661	1,080	1,090	1,100
		実績	1,070	1,057	1,070	1,155		
		達成率	—	—	—	106.9%		
	住宅改修費 (居宅生活 動作補助 用具)	目標値	2	2	2	1	1	1
		実績	0	1	1	0		
		達成率	0%	50%	50%	0%		
事業計※	目標値	581	638	695	1,103	1,113	1,123	
	実績	1,090	1,079	1,092	1,287			
	達成率	—	—	—	—	—	—	

※第5期の「排せつ管理支援用具」の件数のカウント方法を、申請1回1件から1か月1件に変更しているため、「達成率」は表示していない。

サービス	単位	項目	第5期			第6期		
			平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
手話奉仕員 養成研修事業	受講者数	目標値	20	20	20	20	20	20
		実績	8	6	0	0		
		達成率	40%	30%	0%	0%		
移動支援 事業	実利用 者数	目標値	30	34	38	15	16	17
		実績	13	15	15	10		
		達成率	43.3%	44.1%	39.5%	66.7%		
	延べ利用 時間	目標値	630	714	798	850	900	950
		実績	761	756	800	483		
		達成率	120.8%	105.9%	100.3%	56.8%		
地域活動支援 センター事業	市内実施 か所数	目標値	2	2	2	2	2	2
		実績	2	2	2	2		
		達成率	100%	100%	100%	100%		
	市内実 利用者数	目標値	26	26	26	20	20	20
		実績	16	15	16	13		
		達成率	61.5%	57.7%	61.5%	65%		
	他市町実施 か所数	目標値	2	2	2	1	1	1
		実績	1	2	0	0		
		達成率	50%	100%	0%	0%		
	他市町実利 用者数	目標値	3	3	3	1	1	1
		実績	1	3	0	0		
		達成率	33.3%	100%	0%	0%		

意思疎通支援事業については、令和元年度から、手話通訳者（兼務）として、市職員を配置しています。

日常生活用具給付等事業については、排せつ管理支援用具の利用件数が年々多くなっており、見込数を上回っています。

手話奉仕員養成研修事業、移動支援事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出の機会が少なくなったことや事業の中止等により前年度より実績が減っています。

イ 任意事業

サービス	単位	項目	第5期			第6期		
			平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
訪問入浴 サービス事業	利用回数 (回/年)	目標値	222	276	330	150	150	150
		実績	148	152	156	56		
		達成率	66.7%	55.1%	47.2%	37.3%		
生活訓練等 事業		目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施
		実績	実施	実施	実施	実施		
日中一時支援 事業	実利用者数 (人/年)	目標値	30	30	30	30	30	30
		実績	28	28	28	28		
		達成率	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%		

訪問入浴サービス事業については、介護保険サービスへ移行された方や体調不良による利用回数の減により、利用回数が減少しました。

(4) 障害のある子どもの通所支援等

ア 障害のある子どもの通所支援等

サービス	単位	項目	第5期			第6期		
			平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
児童発達 支援	実利用者数 (人/月)	目標値	9	11	13	19	21	23
		実績	11	14	17	20		
		達成率	122.2%	127.3%	115.4%	105.3%		
	延べ利用者 数(人日/月)	目標値	72	88	104	150	170	190
		実績	108	100	136	227		
		達成率	150%	113.6%	130.8%	151.3%		
医療型児童 発達支援	実利用者数 (人/月)	目標値	5	5	5	7	7	7
		実績	7	6	5	3		
		達成率	140%	120%	100%	42.9%		
	延べ利用者 数(人日/月)	目標値	25	25	25	50	50	50
		実績	38	36	20	17		
		達成率	152%	144%	80%	34.0%		
放課後等デ イサービス	実利用者数 (人/月)	目標値	50	66	82	70	80	90
		実績	45	49	62	66		

	延べ利用者数(人日/月)	達成率	90%	74.2%	78%	94.3%		
		目標値	500	660	820	900	1,000	1,100
		実績	609	587	785	925		
		達成率	121.8%	88.9%	95.7%	102.8%		

サービス	単位	項目	第5期			第6期		
			平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
保育所等 訪問支援	実利用者数 (人/月)	目標値	3	4	5	1	1	1
		実績	0	1	1	0		
		達成率	0%	25%	20%	0%		
	延べ利用者数(人日/月)	目標値	3	4	5	2	2	2
		実績	0	2	2	0		
		達成率	0%	50%	40%	0%		
居宅訪問型 児童発達支援	実利用者数 (人/月)	目標値	1	1	1	0	1	1
		実績	0	0	0	0		
		達成率	0%	0%	0%	0%		
	延べ利用者数(人日/月)	目標値	5	5	5	0	1	1
		実績	0	0	0	0		
		達成率	0%	0%	0%	0%		
医療的ケア児 等コーディネーターの配置	配置人数 (人)	目標値	0	1	1	1	1	1
		実績	0	0	0	0		
		達成率	0%	0%	0%	0%		

利用実績をみると、児童発達支援及び放課後等デイサービスにおいて、利用者が増加しています。市内の児童発達支援及び放課後等デイサービスの事業所が7か所(うち1か所は重度心身障害児対応)に増え、利用者の希望に沿った療育が整いつつある状況です。

市内事業所一覧

事業所名	所在地	連絡先	事業内容
ケアサポートセンターえがお	野村町249-10	20-7949	居宅介護・重度訪問介護・移動支援
桜丘ヘルパーステーション	黒田庄町田高313-126	25-5300	居宅介護 重度訪問介護
西脇市社会福祉協議会 ヘルパーステーション	郷瀬町666-5	23-9122	居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援
指定生活介護 ふあいん／ キャッチボール	西脇712-73	27-8480	生活介護 R3新規 就労継続支援B型
生活介護支援事業所つなぐ	西脇263-1	25-2600	生活介護 日中一時支援
虹の会工房／ げんき	黒田庄町前坂2140	28-5128	生活介護 就労継続支援B型 日中一時支援
ホットホーム穩樹	下戸田511	38-7555	生活介護 日中一時支援
障がい者短期入所事業所いこい	黒田庄町黒田1172-6	38-8600	短期入所 R3新規
ワークショップさくら	黒田庄町喜多1527-3	38-7651	就労継続支援A型
econte	蒲江320-3	23-8800	就労継続支援B型
にこっと	寺内519-63	20-7952	就労継続支援B型
PASSO	和田町894-1	20-9147	就労継続支援B型
ワークショップゆめふぁーむ	黒田庄町田高317-2	28-3241	就労継続支援B型
ワークステップかりん／ なかよし工房	黒田庄町前坂2139	28-2918	就労継続支援B型 地域活動支援センター
グループホームハピネス大野	大野467-4	20-3676	共同生活援助 R4新規
虹の会工房グループホーム	黒田庄町前坂2107-1	20-5809	共同生活援助
ソーシャルインクルーホーム西脇野村町	西脇市野村町443-1	24-6011	共同生活援助 R4新規
西脇市障害者基幹相談支援センター ういーぶねっと	下戸田128-1	27-8450	計画相談支援
障害者相談支援センター「ぱれっと」	西脇771-86 松田ビル1階	25-0551	計画相談支援
赤とんぼ相談支援事業所	西脇1239-2	24-7500	計画相談支援
相談支援事業所ココイロ	黒田庄町田高317-2	28-3241	計画相談支援

相談支援センターえがお	野村町249-10	20-7949	計画相談支援
めぐみ訪問看護ステーション	郷瀬町405	24-5866	日中一時支援
ワークホームタンポポ	大野175	22-8149	地域活動支援センター
宿泊訓練ホームわっしょい	大野542-73	24-1458	宿泊訓練ホーム
アミコ	西脇市西脇760-1	22-2909	児童発達支援 R3新規 放課後等デイサービス
みらいポケットにしわき	野村町1257-1 生野医院2階	25-2377	児童発達支援 放課後等デイサービス
エール西教室	西脇1051-20	38-8822	放課後等デイサービス R3新規
Growing つばめ	西田町180-5	25-2055	放課後等デイサービス
こども教室エール	下戸田37-3 高瀬ビル1階	38-8083	放課後等デイサービス
こどもプラス西脇	上野23-101	38-8007	放課後等デイサービス
こはくのひろば	上野207-2	38-7677	放課後等デイサービス
チャレンジ・キッズ西脇	高田井町33-7	20-6992	放課後等デイサービス

(順不同)

2 第3次西脇市障害者基本計画、第7期西脇市障害福祉計画・第3期西脇市障害児福祉計画の策定について

(1) 策定に向けたスケジュール(案)について

<令和4年度>アンケート調査・現状分析

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画策定業務	アンケート調査票作成・印刷			アンケート発送・回答				
	団体ヒアリング調査票作成			回収・ヒアリング実施		報告書作成		
協議会	◎							◎

<令和5年度>計画骨子案⇒素案⇒パブリックコメント等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計画策定業務	現行計画評価・検証等					
	計画骨子案作成		計画素案作成⇒修正			
						パブコメ準備
協議会		◎	◎		◎	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画策定業務	パブコメ準備		パブコメ実施・回答			
			計画書編集 ⇒内容確定⇒印刷			
			概要版作成・編集 ⇒内容確定⇒印刷			
協議会	◎			◎		

(2) アンケート調査(案)について

<目的>

当事者や家族に対し、生活の状況、障害福祉サービスの利用状況と今後の移行や障害者(児)施策に対する意見を把握し、これまでの計画の評価や新しい計画を策定のための資料とする。

<対象者>

合計約1,500人(うち、市内在住者で施設入所者を除く。)

※前回は、市内在住で施設入所者を除いた無作為抽出985人に配布

対象者(重複あり)	人数	児	大人
1 身体障害者手帳所持者(65歳未満)	411	22	389
2 療育手帳所持者(65歳未満)	444	125	319
3 精神保健福祉手帳所持者(18歳以上65歳未満)	214		214
4 手帳所持なし・サービス利用している子ども(18歳未満)	33	33	-
5 自立支援医療受給者証利用等でサービス利用の方(18歳以上)	23	-	23
6 難病医療受給者証の所持者(65歳未満)	319	-	319
7 小児慢性特定疾病医療受給者証の所持者(18歳未満)	19	19	-
合計	1,463	199	1,264

<実施予定時期>

令和4年11~12月頃

<実施方法>

郵送にて送付

回答は郵送・インターネット回答

<アンケートの主な項目(案)>

別紙「西脇市障害者福祉に関するアンケート調査」調査票(18歳以上・18歳未満)

※前回の質問用紙をもとに、一部修正した項目及び新規で追加した項目については★のマークつけております。

上記内容について、検討すべきことや要望等ありましたら、御意見いただきますようお願いいたします。

西脇市障害者福祉に関するアンケート調査

アンケート調査へのご協力をお願い

市民の皆様には、市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、西脇市では、平成29年に障害のある方々の自立した生活を支援するために策定した「西脇市障害者基本計画」・「第6期西脇市障害福祉計画」が令和5年度で終了するため、令和6年度からの「西脇市障害者基本計画」及び「第7期西脇市障害福祉計画」を策定します。

このアンケート調査は、あなたの生活の状況、障害福祉サービス等の利用状況と今後の意向や障害者施策に対するご意見などをおうかがいし、これまでの計画の評価と新しい計画を策定する上での貴重な資料とすることを目的として実施するものです。

このアンケート調査票は、市内にお住まいの身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及び難病等のある方にお送りしています。

なお、このアンケート調査は、あなたの名前を書いていただかない「無記名方式」で行いますので、あなたが答えになった内容が特定されることはありません。また、調査の目的以外に調査結果を使用することはありません。調査の目的をご理解いただき、調査にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

令和4年11月

西脇市

＝アンケート調査票の回答にあたってのお願い＝

- アンケート調査票への回答は、封筒の宛名のご本人にお願いいたします。なお、ご本人による回答が困難な場合は、ご家族などがご本人の意見を聞き取るか、ご本人の立場に立って回答していただくなど、ご協力をお願いします。
- 各設問の「あなた」とは、封筒の宛名のご本人を指します。ご家族などがお答えくださる場合には、ご本人のこととしてとらえていただきますようお願いいたします。
- 各設問にお答えの際は、令和4年●月●日時点の状況でお答えください。
- 設問の回答方法は、あてはまる番号や回答欄に○をつけていただくものです。設問により、○をつける個数や回答していただく方が決まっているものがあります。設問の説明に従ってお答えください。
- ご回答後は、同封の返信用封筒（切手はいりません）をご利用いただき、●月●日（●）までにご返送願います。また、このアンケートはインターネットでも回答できますので、その際は下記のQRコードをご利用ください。
- わからないことなどがありましたら、下記までご連絡ください。

西脇市役所 福祉部 社会福祉課 障害福祉担当
電話 0795-22-3111(代表) 内線 1147

1 あなた（宛名のご本人）のことについておたずねします

問1 はじめに、このアンケート調査票にはどなたが答えますか。【1つに○】

- 1 あなた（宛名のご本人）
- 2 家族や介助者（宛名のご本人の意見を聞き取る）
- 3 家族や介助者（宛名のご本人の意見を確認するのが難しい）

問2 あなた（ご本人）の性別はどちらですか。【1つに○】

- 1 男性
- 2 女性

問3 あなた（ご本人）は何歳ですか。【令和●年●月●日時点の状況で記入してください】

- 1 18歳～29歳
- 2 30歳～39歳
- 3 40歳～49歳
- 4 50歳～59歳
- 5 60歳～64歳
- 6 65歳以上

問4 あなた（ご本人）は、「身体障害者手帳」を持っていますか。【1つに○】

持っている

- 1 1級
- 2 2級
- 3 3級
- 4 4級
- 5 5級
- 6 6級

7 持っていない ⇒問7へ



問5から問6へ

問5 問4で「1」～「6」（持っている）と答えた方におたずねします。

あなた（ご本人）にある障害（障害の種別・種類・部位）は何ですか。

【主な障害のほか、重複する障害も含めて、あてはまるものすべてに○】

- 1 視覚障害（目が不自由）
- 2 聴覚障害・平衡機能障害（耳が不自由）
- 3 音声・言語機能障害、そしゃく機能の障害（声が出ない、物がかめない）
- 4 肢体不自由（上肢・下肢、体幹機能、脳原性運動機能の障害）
- 5 内部障害（心臓、腎臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害）

問6 問4で「1」～「6」(持っている)と答えた方におたずねします。
あなた(ご本人)に身体障害が生じた原因は何ですか。【1つに〇】

1 事故	5 先天性(出産時期)のもの
2 災害(自然災害・労働災害など)	6 その他()
3 脳卒中などの脳血管障害	7 わからない
4 その他の病気()	

問7 あなた(ご本人)は、「療育手帳」を持っていますか。【1つに〇】

持っている

1 A判定	2 B1判定	3 B2判定	4 持っていない
-------	--------	--------	----------

問8 あなた(ご本人)は、「精神障害者保健福祉手帳」を持っていますか。【1つに〇】

持っている

1 1級	2 2級	3 3級	4 持っていない
------	------	------	----------

問9 あなた(ご本人)は、「特定医療費(指定難病)受給者証」を持っていますか。
【1つに〇】

1 持っている	2 持っていない
---------	----------

さしつかえなければ病名をご記入ください
()

問10 あなた(ご本人)は、介護保険の「要介護認定」を受けていますか。【1つに〇】

1 要支援1	4 要介護2	7 要介護5
2 要支援2	5 要介護3	8 受けていない
3 要介護1	6 要介護4	

2 日常生活の様子についておたずねします

問14 あなた（ご本人）が、誰かに手伝ってもらっていることは何ですか。補装具や自助具等を使用している方は、それらを使用した状態でお考えください。

【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 食事をすること | 9 外出する（家の外に出かける）こと |
| 2 食事をつくること | 10 初めての場所に行くこと |
| 3 トイレに行く（便をする）こと | 11 薬を飲むこと |
| 4 衣服を着替えること | 12 バスや電車を利用する（乗る）こと |
| 5 お風呂に入ること | 13 お金の計算や管理をすること |
| 6 家の中を移動すること | 14 コミュニケーションをとること |
| 7 掃除や洗濯などの家の用事をする事 | 15 特にない |
| 8 電話やファックスを使うこと | 16 その他（ ） |

問15 あなた（ご本人）は昼間どこで過ごしていますか。【1つに○】

- 1 家にいる
- 2 会社などで働いている
- 3 障害福祉サービス（作業所など）の事業所
- 4 入院中
- 5 その他（ ）

問16 あなた（ご本人）は、行きたい時に行きたいところへ行くことができますか。

【1つに○】

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 はい ⇒ 問18へ | 2 いいえ ⇒ 問17へ |
|-------------|--------------|

問17 問16で「2 いいえ」と答えた方におたずねします。

「行きたいところへ行くことができない」理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|--|---------------|
| 1 介助者がいないから | 7 他者に迷惑をかけるから |
| 2 交通手段がないから | 8 人の目が気になるから |
| 3 トイレ、段差、駐車場などのバリアフリー対応が不十分だから | |
| 4 お金がないから | 9 その他（ ） |
| 5 一緒に行ける仲間がいないから | |
| 6 体調（パニック、発作、めまい、その他症状の日内変動や急激な変化など）が心配だから | |

問20 あなた（ご本人）は、将来どこで暮らしたいですか。【1つに○】

- 1 今の生活を続けたい ⇒ 問22へ
 - 2 アパートなどで、一人暮らしをしたい
 - 3 グループホームなど、世話をしてくれる人がいる所で共同生活がしたい
 - 4 施設に入所したい
 - 5 わからない ⇒ 問22へ
- } 問21 へ

問21 問20で「2 アパート」「3 グループホーム」「4 施設」と答えた方におたずねします。いつからその場所で暮らしたいですか。【1つに○】
何年後かの場合は、空欄に数字もご記入ください。

- 1 今すぐ
- 2 年後

問22 アンケート調査票に回答している人が介助者の場合のみ、お答えください。（ご本人が回答している場合は問24へ。）
あなた（介助者）は、ご本人に将来どこで暮らしてほしいですか。【1つに○】

- 1 今の生活を続けてほしい ⇒ 問24へ
 - 2 アパートなどで、一人暮らしをしてほしい
 - 3 グループホームなど、世話をしてくれる人がいる所で共同生活をしてほしい
 - 4 施設に入所してほしい
 - 5 わからない ⇒ 問24へ
- } 問23 へ

問23 問22で「2 アパート」「3 グループホーム」「4 施設」と答えた方におたずねします。いつからその場所で暮らしてほしいですか。【1つに○】
何年後かの場合は、空欄に数字もご記入ください。

- 1 今すぐ
- 2 年後

3 サービスについておたずねします（「別紙」をご参照ください）

問24 現在利用している障害福祉サービス、今後利用したい障害福祉サービス等についてお答えください。なお、今後の利用意向は、現在サービスを「利用している」「利用していない」にかかわらずご回答ください。【あてはまるサービスすべてに○】

	サービス名	①現在の利用状況	②今後の利用意向			
		利用している	3年以内に利用したい	3年以降利用したい	利用したくない	わからない
障害のある方のみ対象となるもの	①生活介護	1	2	3	4	5
	②地域活動支援センター	1	2	3	4	5
	③自立訓練（機能訓練・生活訓練）	1	2	3	4	5
	④就労移行支援	1	2	3	4	5
	⑤就労継続支援（A型）	1	2	3	4	5
	⑥就労継続支援（B型）	1	2	3	4	5
	⑦施設入所支援		2	3	4	5
	⑧共同生活援助（グループホーム）	1	2	3	4	5
	⑨同行援護	1	2	3	4	5
障害のある子ども及び障害のある方が対象となるもの	⑩移動支援	1	2	3	4	5
	⑪居宅介護（ホームヘルプ）	1	2	3	4	5
	⑫訪問入浴サービス	1	2	3	4	5
	⑬訪問看護	1	2	3	4	5
	⑭短期入所	1	2	3	4	5
	⑮日中一時支援	1	2	3	4	5

4 お仕事についておたずねします

問27 あなた（ご本人）は、現在働いていますか。【1つに○】

- 1 働いていない ⇒ 問28へ
- 2 会社などで働いている
- 3 会社などの障害者雇用枠で働いている
- 4 障害福祉サービス（作業所など）の事業所を利用している

} 問30へ

問28 問27で「1 働いていない」と答えた方におたずねします。
就労希望の有無について教えてください。【1つに○】

- 1 就職活動中である
- 2 今後、就職活動をする予定
- 3 就職したいが、あきらめている
- 4 就職したいと思っていない
- 5 その他（

} 問29へ

) } 問30へ

問29 問28で「1 就職活動中である」「2 今後、就職活動をする予定」「3 就職したいが、あきらめている」と答えた方におたずねします。
就職活動をする上で、あなたが課題に思うことはどのようなことですか？
【あてはまるものすべてに○】

- 1 就労に関する相談先を知らない
- 2 相談先に、障害や疾患に関する知識や理解があまりない
- 3 相談先に、障害のある方（難病等を含む）に対する求人・企業の受け入れ環境に関する情報が少ない
- 4 収入条件が合う求人が少ない
- 5 勤務時間等の労働時間が合う求人が少ない
- 6 体力的・精神的に不安がある
- 7 その他（

)

問30 あなた（ご本人）は、病気や障害のある方が会社などで就労するにあたり、どのような配慮が必要だと感じますか。【あてはまるものすべてに○】

- 1 働くことに対する相談支援体制が充実していること
- 2 障害のある方向け求人情報が得やすいこと
- 3 職場内で病気や障害に対する理解があること
- 4 病気や障害の状況にあわせ、仕事内容や勤務時間（休憩時間を含む）の相談ができること
- 5 通勤や移動に対して配慮や支援があること
- 6 障害のある方（難病等を含む）が働きやすい設備が整っていること
- 7 職場内のコミュニケーションや作業の支援があること
- 8 特にない
- 9 その他（)

5 地域生活と地域共生社会についておたずねします

問31 あなた（ご本人）は、社会活動や地域で行われる行事など（地域のまつり、スポーツ団体など）に参加していますか。【1つに○】

- 1 参加している
- 2 参加していない

問32 あなた（ご本人）が、社会活動や地域で行われる行事などに安心して参加するために、どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

- 1 身近に参加できる行事や活動がたくさんある
- 2 どんな行事や活動があるのか十分に情報が得られる
- 3 移動や意思疎通（思いを伝える）を助けてくれる人がいる
- 4 会場の設備などが障害のある方（難病等を含む）に配慮されるようになる
- 5 家族が参加を反対せずに理解して協力してくれる
- 6 一緒に参加する仲間がいる
- 7 行事や活動に参加する人が障害や病気に対する理解がある
- 8 その他（)

※地域共生社会について

平成29年に社会福祉法が改正され、今後目指していく地域の姿として「地域共生社会」が示されました。地域の住民一人ひとりが役割を持ち、支えあいながら、住み慣れた地域の中で自分らしく活躍できる地域共生社会の実現を目指し、地域づくりの取組を進めていく必要があります。

★ 問33 西脇市では、「地域共生社会」の考え方が市民に理解されていると思いますか。

【1つに○】（地域福祉に定義される重層的支援等に関する設問）

- | | |
|--------------------|------------|
| 1 理解され、浸透している | 4 理解されていない |
| 2 どちらかといえば理解されている | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば理解されていない | |

★ 問34 地域共生社会の実現のためには、多様な生活課題に総合的に対応する相談支援体制が求められます。西脇市で総合的な相談支援の仕組みを充実させていくために、どのようなことに優先的に取り組むべきだと思いますか。【2つまでに○】

- 1 市役所で多様な相談に総合的に対応できる体制をつくる
- 2 地域で活動している人や事業所などの相談体制を充実させ、身近なところで相談できるようにする
- 3 相談に行けない人を発見し、窓口につなぐ取組を充実させる
- 4 相談から支援に繋がれるよう、関係者同士のネットワークを充実させる
- 5 課題を解決するためのサービスの充実を図る
- 6 相談しやすいように、窓口の開設時間や相談の方法を改善する
- 7 その他（ ）

★ 問35 あなたは、地域共生社会の実現のために、どのようなことが最も重要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

- 1 行政からの福祉に関する情報提供の充実
- 2 保健や福祉の専門的な人材の育成と資質の向上
- 3 誰でも参加しやすいスポーツ、サークル、文化活動の充実
- 4 いろいろなボランティア活動の育成
- 5 障害のある方や高齢者が、在宅で生活しやすいような保健・医療・福祉のサービスの充実
- 6 障害の有無等に関わらず、誰もが地域でともに学べる保育・教育内容の充実
- 7 職業訓練の充実や働く場所の確保
- 8 公共施設のバリアフリー化
- 9 障害のある方・高齢者等に配慮した公営住宅やグループホームの整備など、生活の場の確保
- 10 差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動の充実
- 11 市民同士がふれあう機会や場の充実
- 12 その他（ ）

6 災害時の対応についておたずねします

問36 あなた（ご本人）は、地震や火災、水害などの時、一人で避難できますか。【1つに○】

- 1 一人で避難できる
- 2 声かけや誘導があれば一人で避難できる
- 3 介助してくれる人がいれば避難できる
- 4 介助してくれる人がいても、避難に時間がかかる

問37 あなた（ご本人）は、「にしわき安心ボトル」を利用していますか。【1つに○】

- 1 利用している
- 2 利用していないが、「にしわき安心ボトル」について知っている
- 3 「にしわき安心ボトル」について知らない



問38 あなた（ご本人）は、地震や火災、水害などの災害が発生した時のために、普段から何か準備をしていますか。【あてはまるものすべてに○】

- 1 地域の避難訓練に参加している
- 2 非常用持ち出し品（※）のリストを作っている
- 3 非常用持ち出し品を準備している
- 4 避難所までの順路を把握している
- 5 日頃から避難所まで行く訓練をしている
- 6 近隣に避難時の声かけや支援をお願いしている
- 7 何もしていない
- 8 わからない
- 9 その他（ ）

※非常用持ち出し品とは

- お金（小銭・カード・通帳・障害者手帳などの身分証明書・印鑑など）
- 食糧（非常食・水など）3日分程度
- 情報に関するもの（携帯電話・充電器・ラジオなど）
- 懐中電灯・電池など
- 薬・救急医療品
- 衣類・タオル・ティッシュ・洗面用具・生理用品など
- 障害や病気ゆえに必要なもの（杖・補装具・こだわりのものなど）

★問47 問46で「1 いる」と答えた方におたずねします。その方の区分についてお教えください。【1つに○】

- | | |
|-------|-------|
| 1 小学生 | 4 大学生 |
| 2 中学生 | 5 その他 |
| 3 高校生 | () |

問48～問52については、問44で「1 いる（家族など）」と答えた方におたずねします。

問48 あなた（ご本人）を主に介助している人の健康状態はいかがですか。【1つに○】

- | | |
|-------|---------|
| 1 元気 | 3 体調が悪い |
| 2 ふつう | |

問49 あなた（ご本人）を主に介助している人は、働いていますか。【1つに○】

- 1 働いていない
- 2 会社など（正社員）で働いている
- 3 パート・アルバイトなどで働いている
- 4 家で商売をしている（自営業）
- 5 内職をしている
- 6 その他（)

問50 あなた（ご本人）を主に介助している人が困っていること（困っているのではないかと思うこと）は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- 1 介助のために体が疲れている
- 2 介助のために気持ちや心が疲れている
- 3 自分の自由な時間を持ってない
- 4 思うように外出できない
- 5 他の家族の世話が十分できない
- 6 仕事をしたいができない
- 7 福祉サービスや病院の費用などお金の負担が大きい
- 8 家族や親戚の人から理解や協力が得られない
- 9 近所の人や会社の人から理解や協力が得られない
- 10 福祉サービスを利用させたいが利用できる事業所がない
- 11 施設や福祉サービスの情報が入手できない
- 12 特にない
- 13 わからない
- 14 その他（)

問58 あなた（ご本人）は、西脇市は暮らしやすい環境が整っていると思いますか。

【1つに○】

- | | | | |
|---|---------|---|----------|
| 1 | そう思う | 4 | まったく思わない |
| 2 | やや思う | 5 | わからない |
| 3 | あまり思わない | | |

問59 あなた（ご本人）がふだん感じておられることや不安に思っておられること、障害のある方の福祉を充実していくために必要だと思うことがありましたら、ご意見をお書きください。

これでアンケート調査は終わりです。長時間にわたって、ありがとうございました。

答え忘れていないところがないかを確認していただき、同封の返信用封筒（切手はいりません）に入れて、●月●日（●）までに郵便ポストに投函してください。

西脇市障害者福祉に関するアンケート調査

アンケート調査へのご協力をお願い

市民の皆様には、市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、西脇市では、平成29年に障害のある方々の自立した生活を支援するために策定した「西脇市障害者基本計画」・「第6期西脇市障害福祉計画」が令和5年度で終了するため、令和6年度からの「西脇市障害者基本計画」及び「第7期西脇市障害福祉計画」を策定します。

このアンケート調査は、障害のある子どもの生活の状況、障害福祉サービス等の利用状況と今後の意向や障害児施策に対するご意見などをおうかがいし、これまでの計画の評価と新しい計画を策定する上での貴重な資料とすることを目的として実施するものです。

このアンケート調査票は、市内にお住まいの身体障害者手帳、療育手帳をお持ちの方及び、特別障害児手当や児童通所サービスを利用している方、難病等のある方にお送りしています。

なお、このアンケート調査は、あなたの名前を書き添えない「無記名方式」で行いますので、あなたが答えになった内容が特定されることはありません。また、調査の目的以外に調査結果を使用することはありません。調査の目的をご理解いただき、調査にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

平成4年11月

西脇市

＝アンケート調査票の回答にあたってのお願い＝

- アンケート調査票への回答は、ご本人の立場に立って回答していただくなど、ご協力をお願いします。
- 各設問の「ご本人」とは、封筒の宛名の方を指します。
- 各設問に回答の際は、令和4年●月●日時点の状況でお答えください。
- 設問の回答方法は、あてはまる番号や回答欄に○をつけていただくものです。設問により、○をつける個数や回答していただく方が決まっているものがあります。設問の説明に従ってお答えください。
- ご回答後は、同封の返信用封筒（切手はいりません）をご利用いただき、●月●日（●）までにご返送願います。また、このアンケートはインターネットでも回答できますので、その際は下記のQRコードをご利用ください。
- わからないことなどがありましたら、下記までご連絡ください。

西脇市役所 福祉部 社会福祉課 障害福祉担当

電話 0795-22-3111(代表) 内線 1147

問11 問10で「2 いいえ」と答えた方におたずねします。

「行きたいところへ行くことができない」理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- 1 介助者がいないから
- 2 交通手段がないから
- 3 トイレ、段差、駐車場などのバリアフリー対応が不十分だから
- 4 お金がないから
- 5 一緒に行ける仲間がないから
- 6 体調（パニック、発作、めまい、その他症状の日内変動や急激な変化など）が心配だから
- 7 他者に迷惑をかけるから
- 8 人の目が気になるから
- 9 その他（)

問12 ご本人は、どんなところへ行きたいですか。【あてはまるものすべてに○】

- 1 友だち・仲間をつくれるところ
- 2 学習ができるところ
- 3 スポーツができるところ
- 4 買物ができるところ
- 5 遊べるところ
- 6 外食のできる場所
- 7 特になし
- 8 その他（)

問13 あなたは、日常生活の中で、どのようなことに悩みや不安を感じますか。

【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 1 医療費のこと | 11 仕事や職場の人間関係のこと |
| 2 生活費のこと | 12 学校や勉強のこと |
| 3 親身になってくれる相談相手のこと | 13 就職・進学のこと |
| 4 住まいのこと | 14 結婚・育児のこと |
| 5 家族や親戚のこと | 15 緊急時の対応のこと |
| 6 友人関係のこと | 16 財産管理のこと |
| 7 主な介助者がなくなった時のこと | 17 余暇の過ごし方のこと |
| 8 家事に関すること | 18 特になし |
| 9 福祉サービスの利用のこと | 19 その他（) |
| 10 ご本人と同じ障害や病気のある人との交流の場がないこと | |

3 サービスについておたずねします（「別紙」をご参照ください）

問14 ご本人が現在利用している障害福祉サービス、今後利用したい障害福祉サービス等についてお答えください。なお、今後の利用意向は、現在サービスを「利用している」「利用していない」にかかわらずご回答ください。【あてはまるサービスすべてに○】

	サービス名	①現在の利用状況	②今後の利用意向			
		利用している	3年以内に利用したい	3年以上に利用したい	利用したくない	わからない
障害のある方のみ対象となるもの	①生活介護	/	2	3	4	5
	②地域活動支援センター	/	2	3	4	5
	③自立訓練（機能訓練・生活訓練）	/	2	3	4	5
	④就労移行支援	/	2	3	4	5
	⑤就労継続支援（A型）	/	2	3	4	5
	⑥就労継続支援（B型）	/	2	3	4	5
	⑦施設入所支援	/	2	3	4	5
	⑧共同生活援助（グループホーム）	/	2	3	4	5
	⑨同行援護	/	2	3	4	5
障害のある子ども及び障害者が対象となるもの	⑩移動支援	1	2	3	4	5
	⑪居宅介護（ホームヘルプ）	1	2	3	4	5
	⑫訪問入浴サービス	1	2	3	4	5
	⑬訪問看護	1	2	3	4	5
	⑭短期入所	1	2	3	4	5
	⑮日中一時支援	1	2	3	4	5
障害のある子どものみ対象となるもの	⑯学童保育	1	2	3	4	5
	⑰児童発達支援	1	2	3	4	5
	⑱放課後等デイサービス	1	2	3	4	5

4 地域生活についておたずねします

問17 ご本人は、自治会の活動や地域で行われる行事など（地域のまつり、子ども会行事、スポーツ団体など）に参加していますか。【1つに○】

- 1 参加している
- 2 参加していない

問18 ご本人が、地域行事に気軽に安心して参加するために、どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

- 1 身近に参加できる行事や活動がたくさんある
- 2 どんな行事や活動があるのか十分に情報が得られる
- 3 移動や意思疎通（思いを伝える）を助けてくれる人がいる
- 4 会場の設備などが障害のある方（難病等を含む）に配慮されるようになる
- 5 家族が参加を反対せずに理解して協力してくれる
- 6 一緒に参加する仲間がいる
- 7 行事や活動に参加する人が障害や病気に対する理解がある
- 8 兄弟姉妹も一緒に行事に参加できるような配慮がある
- 9 その他（)

5 災害時の対応についておたずねします

問19 ご本人は、地震や火災、水害などの時、一人で避難できますか。【1つに○】

- 1 一人で避難できる
- 2 声かけや誘導があれば一人で避難できる
- 3 介助してくれる人がいれば避難できる
- 4 介助してくれる人がいても、避難に時間がかかる

問20 ご本人は、「にしわき安心ボトル」を利用していますか。【1つに○】

- 1 利用している
- 2 利用していないが、「にしわき安心ボトル」について知っている
- 3 「にしわき安心ボトル」について知らない



問21 あなたは、地震や火災、水害などの災害が発生した時のために、普段から何か準備をしていますか。【あてはまるものすべてに○】

- 1 地域の避難訓練に参加している
- 2 非常用持ち出し品（※）のリストを作っている
- 3 非常用持ち出し品を準備している
- 4 避難所までの順路を把握している
- 5 日頃から避難所まで行く訓練をしている
- 6 近隣に避難時の声かけや支援をお願いしている
- 7 何もしていない
- 8 わからない
- 9 その他（)

※非常用持ち出し品とは

- お金（小銭・カード・通帳・障害者手帳などの身分証明書・印鑑など）
- 食糧（非常食・水など）3日分程度
- 情報に関するもの（携帯電話・充電器・ラジオなど）
- 懐中電灯・電池など
- 薬・救急医療品
- 衣類・タオル・ティッシュ・洗面用具・生理用品など
- 障害や病気ゆえに必要なもの（杖・補装具・こだわりのものなど）

問22 避難所で、ご本人やあなたが困ることは何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- 1 被害の状況がわからない
- 2 避難所では、周囲の人との意思疎通がうまくできない
- 3 避難所で他の人と一緒に過ごすことができない
- 4 介護や医療ケアが必要なので一般の避難所で過ごせない
↳ **具体的な内容も書いてください**（)
- 5 必要な薬が手に入らない・治療が受けられない
- 6 補装具や日常生活用具が使えない
- 7 特にない
- 8 わからない
- 9 その他（)

6 障害者差別解消法についておたずねします

問23 あなたは、「障害者差別解消法」が施行されたことを知っていますか。【1つに○】

- 1 知っている
- 2 知らなかった

問24 ご本人は、障害を理由とした差別を受けたことがありますか。【1つに○】

- 1 差別を受けたことがある ⇒ 問25・問26へ
- 2 差別を受けたことがない } 問27へ
- 3 わからない

問25 問24で「1 差別を受けたことがある」と答えた方におたずねします。
どこで差別を受けましたか。【あてはまるものすべてに○】

- 1 学校・園など
- 2 地域
- 3 お店などの商店
- 4 医療機関
- 5 公共施設
- 6 交通機関
- 7 その他 ()

問26 問24で「1 差別を受けたことがある」と答えた方におたずねします。
どのような差別を受けたのか、ご記入ください。

問36 ご本人を主に介助している人が困ったときに誰に相談しますか。

【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1 家族 | 7 市役所や健康福祉事務所（保健所） |
| 2 親戚 | 8 民生委員・児童委員 |
| 3 障害のある子を持つ保護者 | 9 病院やかかりつけ医 |
| 4 手をつなぐ育成会や自主グループ | 10 相談する人がいない |
| 5 学校の先生 | 11 わからない |
| 6 障害者基幹相談支援センターなどの
専門機関 | 12 その他（ ） |

問37 ご本人を主に介助している人は、福祉サービス等に関する情報をどこから入手していますか。【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|--------------------------------------|---------------|
| 1 市役所の窓口（社会福祉課） | 10 民生委員・児童委員 |
| 2 「広報にしわき」 | 11 市の社会福祉協議会 |
| 3 福祉の手引きなどの冊子 | 12 障害者団体 |
| 4 健康福祉事務所（保健所） | 13 家族 |
| 5 学校 | 14 インターネット |
| 6 障害者基幹相談支援センター等
（ういーぶねっと、ぱれっとなど） | 15 テレビ・ラジオ・新聞 |
| 7 サービス事業所（作業所等）の職員 | 16 本や雑誌 |
| 8 病院の医師・看護師 | 17 情報を入手できない |
| 9 友だち・仲間 | 18 その他（ ） |

9 その他

問38 アンケート調査票に回答している人が介助者の場合のみ、お答えください。

介助者でない場合は ⇒ 問39へ

介助者は、将来本人にどんなサポートがあれば、安心して過ごせますか。

【あてはまるものすべてに○】

- | |
|--|
| 1 掃除・洗濯・料理の仕方を教えてくれたり、手伝ってくれたりするところがある |
| 2 家族以外の人と出かけられるサポートがある |
| 3 24時間の見守り体制がある |
| 4 地域の理解と支援がある |
| 5 お金を管理してもらえるサポートがある |
| 6 その他（ ） |

